



里山砂防ワークショップだより

第2回ワークショップを開催しました！

平成21年9月16日（水） 現地および多治見市立市之倉小学校図書室にて

テーマ 「やすらぎの森の現地確認、里山砂防事業についての意見交換」

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップ（H21.7.22）の結果を受けて、ワークショップメンバー全員で、やすらぎの森の現地確認を行うとともに、里山砂防事業における今後の整備（樹林整備内容・作業道整備内容）についての意見交換を行いました。

現地確認の感想 ～森の将来像や森に対する思い～

- 実際に森を歩き、森の状況を確認したメンバーから、森の将来像に対して、様々な思いが寄せられました。



現在の森を残したい

- ・ 自然を大切にし、心のやすらぐ森がよい
- ・ 自然を崩さないようにしたい
- ・ 緑を絶やさないようにしたい



学び遊べる森にしたい

- ・ 散歩のできる道があるとよい
- ・ 子供たちが遊ぶことができる道があるとよい
- ・ 市之倉小学校は愛鳥モデル校であり、森に関わる授業を行っている。また、森には栗やドングリが落ちている。このような環境のなかで、子供たちが学び遊べる森がよい。



安全な森にしたい

- ・ 安全でケガのない活動ができる森がよい
- ・ 安心して入れる森がよい
- ・ 安全で、楽しめる森をめざした整備がしたい

ちょうどお昼休みで、森で楽しそうに遊ぶ、市之倉小の児童たちに会いました





今後の整備について メンバーからの意見など



- 現地確認を経て、ワークショップメンバー間で、今後のやすらぎの森の整備（樹林整備内容・作業道整備内容）について、活発な意見交換が行われました。
- また、多治見市緑化公園課および岐阜県東濃農林事務所より、アドバイザーを招き、林内の除伐等について専門的なアドバイスをいただきました。



樹林整備内容について（意見）

- ・ 子供たちの安全確保のために、立枯木を優先的に処理してほしい
- ・ 景観が悪いところでは、伐採木は搬出してほしい。チップ化して林内利用も良い

（アドバイザーからの意見）

- ・ ソヨゴは、ある程度伐採してもよい。ただし、株立ちしているものは全て伐採するのではなく、1本は残した方がよい
- ・ ヒノキ林は手入れした方がよい
- ・ 一般的に林内整備では、伐採木は搬出せず林内に置き、腐らせ、土壌化を促進させる。伐採木を全て搬出するのではなく、目的を明確にして搬出範囲を決めた方がよい。

（整備の方向性）

- ・ 出水時の流木化防止、子供の安全確保のために必要な範囲を伐採・搬出する

作業道整備内容について（意見）

- ・ 作業道のルート選定は行政に任せたい。専門的な目で見てもらいたい
- ・ 7丁目につながる道があると便利である
- ・ 12丁目につながるルートであれば、筒小屋の森部会が活用できるので良い（筒小屋の森部会と連携できる）
- ・ 学校の東側の車道から、森の尾根に上がるような道を検討してもらいたい
- ・ 学校には車が入らないような作業道がよい。作業の時だけ車が入るようにする

（アドバイザーからの意見）

- ・ 作業道の途中で、転回できる場所があるとよい
- ・ 樹林整備をするためには、軽トラが入れる程度の道があると便利である



- 今後は、これまでの2回のワークショップでいただいたメンバーやアドバイザーからのご意見をふまえ、地域のみなさまや関係自治体と調整を図りながら、やすらぎの森の里山砂防事業計画を検討し、事業を進めていく予定です。
- ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



国土交通省 中部地方整備局 多治見砂防国道事務所

〒507-0804

岐阜県多治見市坂上町 6-34

工務第一課

TEL：0572-25-8020(代表)

FAX：0572-25-7994

URL：<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>

E-mail：tajimi@cbr.mlit.go.jp

